

－ 教 育 目 標 －

茨城県

- ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

土浦三中地区

- 一人一人の能力を伸ばし、豊かな心を育み、たくましく生きる人間を育成する

土浦市

- 一人一人を生かす創意と活力に満ちた学校教育を推進し「確かな学力」と「豊かな心」「健やかな身体」をはぐくむ教育の展開に努める

明日もまた来たくなる楽しい学校づくり

自らの力でたくましく生きる



人間性豊かな児童の育成

目指す学校像

- ・信頼される安心・安全な学校
- ・明るく活気のある学校
- ・地域と連携した学校



目指す児童像

- － 知・徳・体の調和のとれた児童 －
- ・進んで学習する子
 - ・仲良く助けあい互いに認め合う子
 - ・粘り強くがんばる子

目指す教師像

- ・人間性豊かで活力に満ちた教師
- ・明るく積極的で指導力のある教師
- ・子どもの気持ちを理解できる教師



ゆたかさ プロジェクト

- 元気にあいさつができたと答える児童90%
- 自分にはよいところがあると答える児童90%
- 1 「いじめは絶対に許さない」学校づくり
- 乙戸小いじめ防止基本方針の共通実践
- チーム体制での未然防止、初期対応、指導・支援の継続
- 学級経営の充実
- ※自己理解・他者理解、自己コントロール力の育成
- ・ソーシャルスキルトレーニング・対人関係ゲーム
- ・OKS(オツ・キッズ・サミット)による児童が自分たちで考える目標づくりと振り返る時間の確保
- ・理解し、説明し合う授業→対話的で深い学び
- ★生徒指導機能を有する授業展開
- ・自己決定・自己存在感・共感的人間関係

- 2 道徳教育の充実
- 学年による道徳公開日の設定
- 道徳ノートの活用
- 人間関係の円滑化と互いを認め合う場の設定
- 3 児童同士、児童と教師、教師と保護者との信頼関係の構築
- 互いのよさを認め合う活動
- ・ハートフルコーナー
- ・各学級で目標を決め実践するマナーアップ運動
- あいさつ運動の実施
- ・計画委員会による毎朝のあいさつ運動
- ・三中地区あいさつ運動
- ・各学級児童参加のあいさつ運動

キャリア プロジェクト

- 体験活動を通して
- ①かかわる力②自分を信じる力③やりぬく力④追い求める力がついたA+B 各85%
- 1 かかわる力の育成
- 地域の方との交流
- ・伝承遊びの会・公園探検
- ・老人介護施設との交流
- 異学年との交流
- ・幼稚園児との交流・学校紹介
- ・中学校生活体験、部活動体験など
- 2 やり抜く力の育成
- 適切な計画と実践
- ・各教科での体験的な学習の活用
- 3 追い求める力の育成
- 体験活動と自分の将来を結びつけて考える
- ・消防署警察署見学・笠間焼き体験
- ・日立建機見学・税理士を招いての租税教室

すこやかさ プロジェクト

- 体力テストA+B 63% D+E 12%以下
- 給食後の歯磨き100%
- 外に出て体を動かしている85%
- 給食のメニュー全てを一口は食べた85%(アレルギーは除く)
- 1 体力の向上
- 体育の授業改善
- ・体作り運動や柔軟を高める運動の導入
- ・児童自らが意識し目標を立て実践する取組
- ・柔軟性の定期的な測定(中間・年度末)
- ・陣取り等対人関係ゲームを実施し、日常の遊びに発展させる(クラス遊び・異学年での遊び)
- 日常の体を動かす習慣作り
- ・朝のグーパー体操、柔軟を高める運動
- ・全児童外遊び 年6回以上計画
- ・昼休み等でのクラス単位、なかよし学年の外遊び
- ・持久走大会、縄とび大会へ向けての練習日設定
- 職員研修の充実
- ・本校児童の体力の現状理解と実践法研修
- 2 地域と連携した防災訓練等への参加
- 地域の一員として自分のできることを考え実践する態度の育成と自分の身を守るための知識・技能の習得
- ・蘇生法実習・三角巾を用いた止血体験 等
- 3 自立と社会の一員としての自覚を促す指導
- 自分の体や健康への関心を高める
- ・「元氣アップデー」
- ルールやマナーを守り、自己存在感、自己決定、共感的人間関係を重視した生徒指導機能(授業・生活)
- ・OKS(乙戸キッズサミット)
- 安全な登下校のための意識付け

かしこさ プロジェクト

- 「自分の考えを書いたり発表したりできた」85%
- 授業が「楽しい、わかる」90%
- 「みんなにすすめたい一冊の本」50冊85% 300冊 20%
- 1 個に応じた指導、及び指導体制
- ・授業のユニバーサルデザイン
- ・三中地区学習のきまり・手引きの活用促進
- ・高学年ブロックの算数の時間は少人数学習及びTT方式での学習指導
- ・一斉読書時間の確保(毎週木曜日実施)
- ・少人数指導、日本語指導の充実
- ・1週間を見通した生活・学習計画の実践
- 2 「聴く力」「考える力」「表現する力」の向上
- 友達の意見を聴き自分の考えを深める学習活動
- ・理解し、説明させる授業展開の工夫(対話的で深い学び→学力向上)
- ・小グループでの学び合い
- ・ビブリオバトル(推薦本紹介)大会の実施
- ・学習のまとめ記号の活用の促進
- 校内研修の充実
- ・学年毎の授業研究(年7回)
- ・学年ブロック毎の指導案検討、授業準備
- 3 ICTの推進
- ・デジタル教科書の有効活用
- ・プログラミン学習
- ・Web会議システムを活用した関係機関との連携
- ・タブレットを活用した学習



心理的安定

心理教育的援助サービスの充実

- ◎学習障害の充実
- 温かく良好な人間関係
- 対話的な学び
- 対人関係ゲーム・SST・SGE…等



保幼小連携

- スタートカリキュラムの充実・共有
- 保育園・所、幼稚園等との情報交換・連携・協力
- 保育園・所、幼稚園の小学校訪問(見学・交流・体験)
- 小学校からの出前授業(社会性・自己コントロール)

生徒指導・特別支援教育を合わせた校内支援体制

- ユニバーサルデザインを取り入れた授業
- 全体指導の充実と個への適切な対応(チーム)
- 保護者との緊密な連携

学校におけるコンプライアンスの推進

- 服務規律の徹底
- 教育公務員としての姿勢・誇り
- 事例研修を含めた、指導力向上研修